

公益社団法人和歌山県看護協会 認定看護管理者教育課程
2019年度 募集要項

1. 教育理念

和歌山県看護協会は、看護専門職としての倫理を遵守し、多様化する社会ニーズに対応できる質の高い看護を提供するために、豊かな人間性を持ち自律した看護職の育成を支援する。

和歌山県看護協会認定看護管理者教育課程は、多様なヘルスニーズを持つ個人、家族及び地域住民に対して、質の高い組織的看護サービスを提供することを目指し、一定の基準に基づいた看護管理者を育成する体制を整え、看護管理者の資質と看護の水準の維持及び向上に寄与することにより、保健医療福祉に貢献することを目的とする。

***2019年度より、新カリキュラム基準で各教育課程を開講いたします。**

***例年と異なる点がありますので、詳細については本文をご参照ください。**

2. 認定看護管理者教育課程と教育内容

カリキュラム基準の枠組みは、日本看護協会発行の看護業務基準（2016年改訂版）「看護実践の組織化の基準」を参考に構築されている。新たな枠組みに合わせて教科目名と時間数が設定されており、教育内容の深度が分かるように、過程に応じてⅠ、Ⅱ、Ⅲとなっている。

ファーストレベルでは概論や基礎知識、セカンドレベルでは現状と課題、サードレベルでは今後の方向性を段階的に学べるように構成されている。

1) ファーストレベル 105時間

教育目的	看護専門職として必要な管理に関する基本的知識・技術・態度を習得する。	
到達目標	1) ヘルスケアシステムの構造と現状を理解できる。 2) 組織的看護サービス提供上の諸問題を客観的に分析できる。 3) 看護管理者の役割と活動を理解し、これからの看護管理者のあり方を考察できる。	
科 目	時間	単 元
ヘルスケアシステム論Ⅰ	15時間	1) 社会保障制度概論 2) 保健医療福祉サービスにおける看護の役割 3) 看護管理者の役割と活動
組織管理論Ⅰ	15時間	1) 組織マネジメント概論 2) 看護実践における倫理
人材管理Ⅰ	30時間	1) 労務管理の基礎知識 2) 看護チームのマネジメント 3) 人材育成の基礎知識
資源管理Ⅰ	15時間	1) 経営資源と管理の基礎知識 2) 看護実践における情報管理
質管理Ⅰ	15時間	1) 看護サービスの質管理
統合演習Ⅰ	15時間	1) 演習
和歌山県看護協会の特別枠	6時間	1) 人に伝わるレポート作成

2) セカンドレベル 180時間

教育目的	看護管理者として基本的責務を遂行するために必要な知識・技術・態度を習得する。	
到達目標	1. 組織の理念と看護部門の理念の整合性を図りながら担当部署の目標を設定し、達成に向けた看護管理過程が展開できる。 2. 保健・医療・福祉サービスを提供するための質管理ができる。	
科 目	時 間	単 元
ヘルスケアシステム論Ⅱ	15 時間	1) 社会保障制度の現状と課題 2) 保健医療福祉サービスの現状と課題 3) ヘルスケアサービスにおける多職種連携
組織管理論Ⅱ	30 時間	1) 組織マネジメントの実際 2) 看護管理における倫理
人材管理Ⅱ	45 時間	1) 人事・労務管理 2) 多職種チームのマネジメント 3) 人材を育てるマネジメント
資源管理Ⅱ	15 時間	1) 経営資源と管理の実際 2) 看護管理における情報管理
質管理Ⅱ	30 時間	1) 看護サービスの質保証 2) 安全管理
統合演習Ⅱ	45 時間	演習
		実習

3) サードレベル 180時間

教育目的	多様なヘルスケアニーズをもつ個人、家族、地域住民及び社会に対して、質の高い組織的看護サービスを提供するために必要な知識・技術・態度を習得する。	
到達目標	1. 保健医療福祉の政策同行を理解し、それらが看護管理に与える影響を考えることができる。 2. 社会が求めるヘルスケアサービスを提供するために、看護現場の現状を分析し、データ化して提示することができる。 3. 経営管理の視点に立ったマネジメントが展開できる。	
科 目	時 間	単 元
ヘルスケアシステム論Ⅲ	30 時間	1) 社会保障制度・政策の動向 2) 看護制度・政策の動向 3) ヘルスケアサービスの創造
組織管理論Ⅲ	30 時間	1) 組織デザインと組織運営 2) 組織における倫理
人材管理Ⅲ	15 時間	1) 社会システムと労務管理 2) 看護管理者の育成
資源管理Ⅲ	30 時間	1) 経営戦略 2) 財務管理 3) 組織的情報管理
質管理Ⅲ	30 時間	1) 経営と質管理 2) 組織の安全管理
統合演習Ⅲ	45 時間	1) 演習
		1) 実習

3. 受講要件・開講期間などの詳細について

番号	認定看護管理者教育課程 ファーストレベル	
44	教育目的	看護専門職として必要な管理に関する基本的知識・技術・態度を習得する。
	到達目標	1. ヘルスケアシステムの構造と現状を理解できる。 2. 組織的看護サービス提供上の諸問題を客観的に分析できる。 3. 看護管理者の役割と活動を理解し、これからの看護管理者のあり方を考察できる。
	開催期日	6月12日（水） 開講式 ～ 7月26日（金） 閉講式 （全日程 20日間）
	募集期間	3月15日（金） ～ 4月10日（水）
	受講要件	1. 日本国の看護師免許を有する者 2. 看護師免許を取得後、実務経験が通算5年以上ある者。 3. 管理的業務に関心がある者。
	受講料	会 員 132,800円 （レポート審査料込み） 非会員 265,600円 （レポート審査料込み）
	期間／定員	50名
	開催場所	看護研修センター
	カリキュラム	教育計画 <u> P 16 </u> 参照 和歌山県看護協会ホームページにも掲載しています
	公開講座	和歌山県看護協会ホームページに掲載いたします（4月予定） 研修会受講申込書（様式1）をご使用ください

番号	認定看護管理者教育課程 セカンドレベル	
45	教育目的	看護管理者として基本的責務を遂行するために必要な知識・技術・態度を習得する。
	到達目標	1. 組織の理念と看護部門の理念の整合性を図りながら担当部署の目標を設定し、達成に向けた看護管理過程を展開できる。 2. 保健・医療・福祉サービスを提供するための質管理ができる。
	開催期日	9月18日（水） 開講式 ～ 12月中旬 閉講式 （全日程 32日間 または 33日間）
	募集期間	5月7日（火） ～ 5月31日（金）
	受講要件	1. 日本国の看護師免許を有する者。 2. 看護師免許を取得後、実務経験が通算5年以上ある者。 3. 認定看護管理者教育課程ファーストレベルを修了している者。または看護部長相当の職位にある者、もしくは副看護部長相当の職位に1年以上就いているもの。
	受講料	会 員 224,000円 （レポート審査料込み） 非会員 284,000円 （レポート審査料込み）
	期間／定員	30名
	開催場所	看護研修センター
	カリキュラム	教育計画 <u> P 18 </u> 参照 和歌山県看護協会ホームページにも掲載しています
	公開講座	和歌山県看護協会ホームページに掲載いたします（6月予定） 研修会受講申込書（様式1）をご使用ください
<p>*上記、受講料等以外にテキスト、参考書代等が必要です。 *受講決定者には、後日、参考図書、テキスト購入の案内をします。</p>		

修了要件（2課程共通）

認定看護管理者教育課程カリキュラム基準に定める全教科目の修得をもって認定看護管理者教育課程の修了とす

- (1) 各教科目履修時間数の5分の4以上の出席がある。
- (2) 各教科目でC以上の成績を収めている。
(A : 80点以上 B : 79点～70点 C : 69点～60点 D : 59点以下)
- (3) 同一年度内にカリキュラムを修了していること。

*全教科目を修了し、上記の修了要件を満たした者には、「認定看護管理者教育課程運営委員会」で審査を行い承認の後、修了とする。

4. 提出書類

項目 過程	受講申込書 様式1	勤務証明書 様式2	課程修了所 の写し	職位証明書 様式3	小論文 (2部)	本人確認用 (最終チェックに活用 ください)
ファーストレベル	○	○	×	×	○	
セカンドレベル (ファーストレベルを 修了している者)	○	○	○	×	○	
セカンドレベル (看護部長の職位にあ る者、もしくは副看護 部長相当の職位に1年 以上就いている者)	○	○	×	○	○	
返信用封筒	250円切手を貼付した角型2号封筒 に、ご自身の宛名（郵便番号、住所、氏名）を明記し、二つ折りにし提出書類と共に同封すること。					

* 1つの施設で勤務経験年数が5年に満たない場合は、併せて5年以上となるように複数枚提出する。

1) 小論文2部

ファーストレベル・セカンドレベル

「自部署（自施設）における看護管理上の課題」とし、「サブテーマ」を自分でつけるそれぞれの職位や立場を踏まえて述べてください。

* 詳細は課題レポートの書き方を参照

5. 選考基準

- 1) 受講要件
- 2) 提出書類
- 3) 課題レポート

6. 選考結果の通知

受講者は認定看護管理者教育課程運営委員会で決定し、文書で本人に通知いたします。

7. 提出・問い合わせ

〒642 - 0017 和歌山県海南市南赤坂 17 番地 公益社団法人和歌山県看護協会
認定看護管理者教育課程ファースト・セカンドレベル担当者 宛

問合せ電話番号：073 - 483 - 1005 「ファーストレベル」「セカンドレベル」担当者

* 開館時間は平日 9 時～17 時です。持参される場合はご注意ください。

8. セカンドレベル実践報告会

作成した看護管理実践計画書は、各施設において研修会終了後から実践していただき、その成果は1年後に「実践報告会」として発表の場を設けます。

9. 個人情報の取り扱いについて

個人情報の取り扱いについて和歌山県看護協会は、個人情報の重要性を認識し、責任をもって個人情報の保護を行っています。

認定看護管理者教育課程の応募にあたって提出された個人情報は、受講者の選考及び手続きに使用します。また、受講が決定した方のみ、氏名・所属施設・経験年数・役職等の背景を、講師への情報提供として使用いたします。ご本人の承諾を得ずにこれらの目的を越えて使用することはありません。

なお、受講申込書類が当協会に届いた時点で、申込者はこの内容に同意しているものとして取扱いいたしますのでご了承ください。

ファーストレベル課題レポート

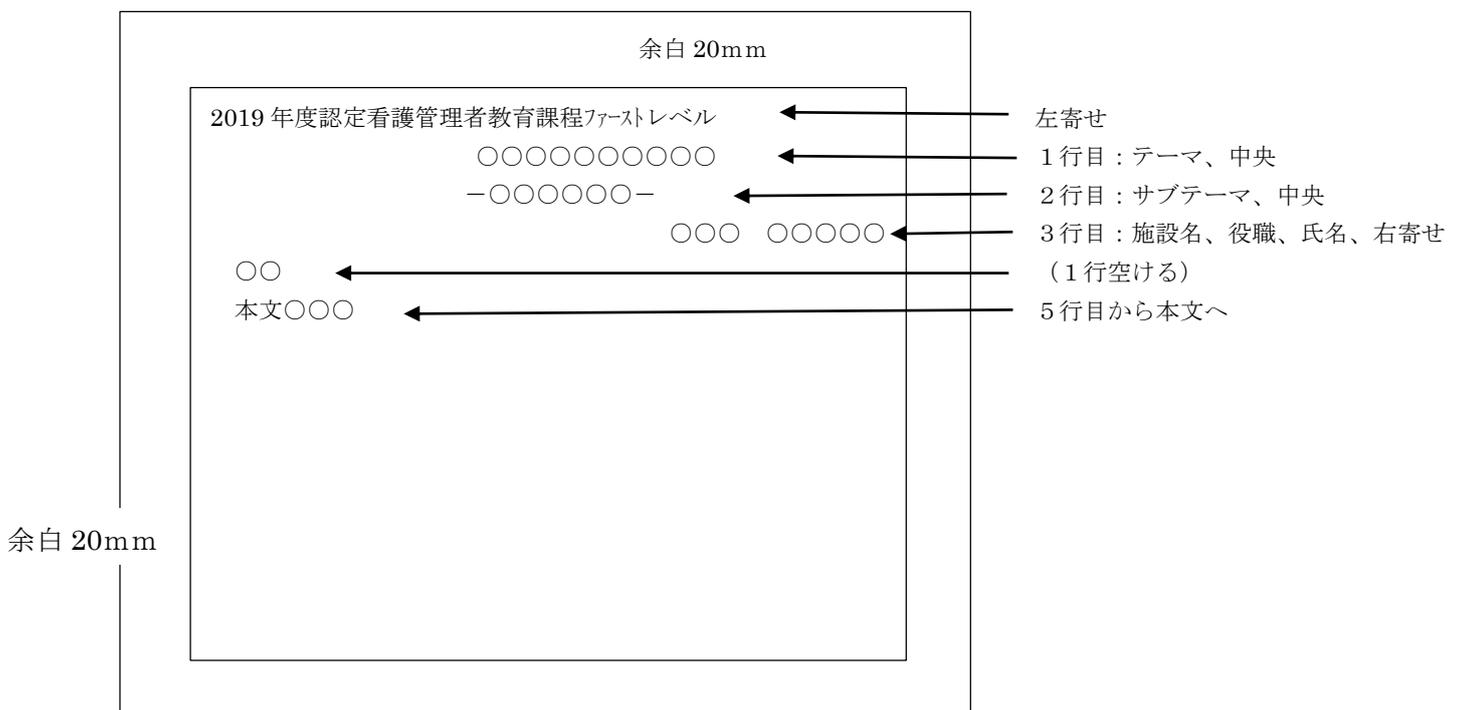
課題（テーマ） 「自部署（自施設）における看護管理上の課題」とし、「サブテーマ」をつける

自部署の現状分析を行い、問題を明確にして、自身が取り組むべき課題について述べてください。

【書式】

- 1) A4用紙を縦置きし、横書きに使用。 字数40×行数40に設定。
- 2) 文字フォントはMS明朝、サイズは10.5ポイント
- 3) 和文は全角、英文およびアラビア数字は半角を使用。
- 4) A4用紙1枚にまとめる。表紙はつけない。
- 5) レポートは2部提出し、うち1部は職位のみ記入する。
- 6) 個人や施設が特定できるような記載は避けること。
- 7) 参考・引用文献の記載は不要。

記載例



セカンドレベル課題レポート

課題（テーマ） 「自部署（自施設）における看護管理上の課題」とし、「サブテーマ」をつける
 自部署の現状分析を行い、問題を明確にして、自身が取り組むべき課題について述べてください。

【書式】

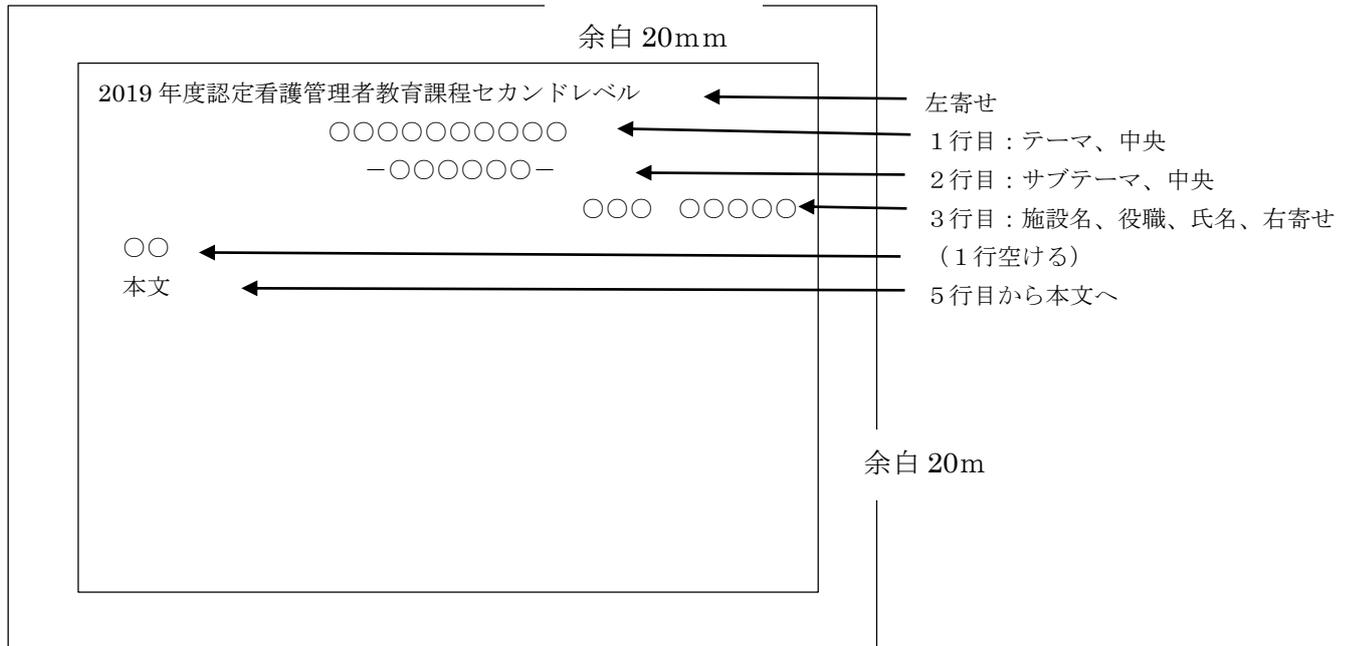
- 1) A4用紙を縦置きし、横書きに使用。 字数40×行数40に設定。
- 2) 文字フォントはMS明朝、サイズは10.5ポイント
- 3) 和文は全角、英文およびアラビア数字は半角を使用。
- 4) A4用紙1枚にまとめる。表紙はつけない。
- 5) レポートは2部提出し、うち1部は職位のみ記入する。

職位は自施設での職位名を記入。

（職位例：施設長・副院長・看護部長・副看護部長・総看護師長・副総看護師長・看護師長・副看護師長・主任・係長・副主任・保健師・助産師・看護師 等）

- 6) 個人や施設が特定できるような記載は避けること。
- 7) 参考・引用文献の記載は不要。

記載例



小論文の評価基準（ファーストレベル・セカンドレベル）

評価基準	点数配分
1. 内容がテーマに沿っている	20
2. 自部署（自施設）の課題を客観的に述べられている	20
3. 論旨に一貫性がある。	20
4. 記述に論理的な配慮がある。	20
5. 小論文の書き方、文章の表現、書式の設定が整っている。	20

*小論文は、A～Dの4段階とし、Dは受講不可とする。

A：80点以上 B：79～70点 C：69～60点 D：59点以下